横浜市立奈良中学校　学校だより

ならの木

5月号

令和5年5月31日

学校長　山根 淳

https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nara/

第43回　体育祭

副校長　　小島　央亘

５月１８日（木）、30℃を超える季節外れの暑さの中で第 43 回体育祭が行われました。今年のスローガンは『**笑顔と勝利の二刀流！！～一人一人の show タイム～**』。WBC での日本代表チームの活躍は記憶に新しいところですが、それに負けないぐらい熱い競技が繰り広げられました。

私が特に感動したのは『大縄跳び』です。体育祭当日を迎えるまで、昼休みや放課後の時間を使って各クラスとも熱心に練習をしました。より良い方法を工夫し、みんなで作戦を考え、どのクラスも徐々に記録を伸ばしていきました。他クラスの良い記録に刺激を受けて、直前練習にはさらに力が入りました。

そして迎えた体育祭当日。本番で最高記録を出したクラスもあれば、実力どおりの力を発揮できずに悔しい思いをしたクラスもありました。ただ、結果よりも、一つの目標に向かって、クラスが協力し合って取り組んでいく過程。そこに中学校の『**学校行事**』の大きな意義があると思います。生徒たちの感想にも、「みんなで協力できた」「クラスが一致団結できた」「気持ちを合わせて跳べた」「最後までみんなで声を掛け合った」といったコメントが数多くありました。クラス一丸となって一所懸命に取り組んだからこそ、このような達成感や喜びを得られたのではないでしょうか。

ここ数年は新型コロナの影響で、様々な『**学校行事**』が変更・縮小・中止を余儀なくされましたが、今年度の体育祭は、ようやく保護者の人数制限をなくし、コロナ前にかなり戻した形で行うことができました。また、代表（学校運営協議会の委員）の方だけにはなりましたが、来賓の方々もお迎えすることができました。奈良中生の一所懸命に取り組む姿、そして生徒と教職員が協力して『**学校行事**』を作り上げていく姿を皆様に見届けていただくことができ、大変嬉しく思っています。ご観覧いただいた地域の皆様、保護者の皆様、どうもありがとうございました。

前期中間テストを終えると６月には校外学習（１年遠足、２年自然教室、３年修学旅行）があります。生徒たちにとって実りの多い行事となるよう、安全に十分留意しながら取り組んでまいります。今後とも本校の教育活動を温かく見守っていただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いします。

3-1
RUN

参ノ弐

全力
Ⅲ－Ⅲ

グリーンピース
3-4
～緑を守るべし～

3-5
必笑
~Big Smile~

奈良中 8組

2-1
江口組

学 級 旗

二年
二組

絶対勝つ

和四組

2-5

勝利
緑
壱ノ壱

壱ノ弐
絆
Pizza!!

壱ノ参
必勝

壱ノ四

壱ノ伍

壱陸
龍翔
鳳舞

１年学年種目「銀河を渡る」　　２年学年種目「四人五脚」　　３年学年種目「台風の目」

【体育祭　総合順位】

１年	１位：２組、６組		３位：４組
２年	１位：１組	２位：５組	３位：２組
３年	１位：１組	２位：４組	３位：２組

体育祭実行委員

【部活動等の記録】

バスケットボール部

〇横浜市バスケットボール選手権大会　北部ブロック大会

男子　１回戦敗退　4/9　　女子　２回戦進出　4/15

バレーボール部

〇県中学校バレーボール選手権大会横浜地区予選会　4/22,29　市ベスト 32（２日目進出）

バドミントン部

〇青葉区中学校バドミントン夏季大会（個人戦）

男子の部　ダブルス　第７位

吹奏楽部

〇子ども達の芸術祭　出演　4/23　　〇青葉バンドフェスティバル　出演　5/7

美術部

〇子ども達の芸術祭　作品出展　4/23

～ 令和5年度 第1回 奈良中学校区 学校運営協議会 が行われました ～

日時：５月１日（月）9:55～10:45 授業見学、10:55～11:55 学校運営協議会　　会場：奈良中学校

学校運営協議会とは？

社会や学校を取り巻く環境が複雑、多様化している中で、子どもに関する課題を解決して、子どもの豊かな成長を実現するために、地域と学校が連携・協働していく必要があります。横浜市では、「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」が一体となって子どもを育てる取組が推進されています。

本校では、学校と地域の懸け橋となって学校・地域コーディネーターが幅広く地域の皆さんのご協力を募り、子どもの学びを支えていただく「地域学校協働本部」の活動が定着してきました。

令和4年度の10月、奈良中学校区（奈良中学校、奈良小学校、恩田小学校、桂小学校）で学校運営協議会を開設しました。「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指す学校運営の実現や、未来の「ふるさと奈良・恩田・桂」を担う児童・生徒の健全な育成に取り組むことを目的に活動していきます。

委員の方には、まず奈良中学校の授業の様子を１時間見学していただきました。その後、学校運営協議会では、はじめに 12 名の委員の方に委嘱状が渡されました。続いて、自己紹介と会長・副会長の選出が行われ、会長は奈良町連合自治会会長の関根宏一様、副会長は恩田地区連合自治会会長の久保田実様にお願いすることになりました。

議事では、奈良中学校、奈良小学校、恩田小学校、桂小学校それぞれの校長から、学校運営の基本方針について説明がありました。

授業見学の感想や、それぞれの学校の説明に対する質問やご意見を委員の方からいただきましたので、ここに一部をご紹介いたします。

【学校運営協議会委員の皆さまからのご意見やご質問、ご感想】

〇授業見学を通して、夢・希望を育める、安心・安全な場所ということを考えられていると感じた。また生徒の授業中の姿勢や態度を見て、先生方の努力が伝わってきた。

〇疲れている様子の生徒も見受けられたが、学年が上がるにつれて、しっかりと取り組んでいて成長を感じとれた。また PTA と教師側の関係性を考え、よく対話することを大切にしていきたい。

〇以前、ふれあいフェスティバルに参加できたことで、中学校のことを知る機会があった。コロナが減ってきた中で、もっと小中交流の機会を増やしていただけると、中学校をより身近にイメージできるのではないか。

〇小学校の卒業式後に、卒園生が保育園を訪ねてきてくれた。保護者の姿も見られたが、とても感情豊かで良い表情だった。その子たちの様子や成長を中学校の授業参観で見ることができたことによって、「一本の道筋」が見えた気がした。とてもありがたいことであると感じた。

〇あいさつが素晴らしいという話があがったが、ここ2，3年で特に感じる。各小学校からの指導の賜物ではないか。

〇奈良中学校への質問として、特別支援に力を入れているということだが、現代の教育の中で難しさや大変さがあると思う。具体的にどのようにして取り組んでいるのか。

→専任や特別支援コーディネーター等が外部への研修で対応等を学び、教職員に浸透させている。また、外部の専門機関の方を招いて教職員向けに研修を行っていく。

次回（第２回）の学校運営協議会は、令和５年９月４日（月）に恩田小学校で行われます。